

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 大

 上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>

 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 古川原 英彦

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 平成23年12月2日

平成23年12月2日

 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,903	6.4	462	30.4	500	27.1	239	261.3
23年3月期第2四半期	18,714	2.6	354	57.2	393	50.2	66	△47.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 239百万円 (135.8%) 23年3月期第2四半期 101百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	23.65	—
23年3月期第2四半期	6.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,844	4,642	33.5
23年3月期	13,613	4,706	34.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,642百万円 23年3月期 4,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
24年3月期	—	5.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	7.0	940	17.3	1,000	13.1	460	54.6	45.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,833,000 株	23年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	988,854 株	23年3月期	658,854 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,109,228 株	23年3月期2Q	10,532,246 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興に伴い、個人消費や民間設備投資に持ち直しの動きもみられたものの、欧州の経済危機に端を発した世界的な経済状況の悪化や円高、株式市場の低迷、雇用情勢の悪化など、依然として予断を許さない状況が続いております。

食品小売業界におきましても、震災の復興に伴い、安定的な消費活動に戻りつつありますが、放射能汚染や病原菌の問題等により、消費者の食に対する「安全・安心」への意識と、それに対する企業責任は大きく、経営環境は一層厳しくなっております。

このような状況の下、当社グループは消費者目線に立った経営を心がけ、「安全・安心」で低価格な食品の安定した提供に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は199億3百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は4億62百万円（前年同期比30.4%増）、経常利益は5億円（前年同期比27.1%増）、四半期純利益は2億39百万円（前年同期比261.3%増）となりました。

なお、「3 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報等」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間よりセグメント名称を変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(小売事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、7月に発生した新潟・福島豪雨により、旗艦店であるチャレンジャー燕三条店（新潟県燕市）が浸水の被害を受け、3日間の休業を余儀なくされました。また、老朽化が進んでいたチャレンジャー田家店（新潟市秋葉区）につきましては、2週間休業し、売場環境を整えるための店内外の改装工事を行い、お客様から更に支持を得られるよう努めてまいりました。

「業務スーパー」部門につきましては、東北地方において好調な状況が続いており、売上高の増加に大きく寄与いたしました。また、7月には秋田県全域におけるエリアフランチャイズ権を取得し、更なる販路拡大を図るとともに、9月には山形県で7店舗目となる「業務スーパー寒河江店」（山形県寒河江市）をオープンし、計画通りの出店に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は136億8百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は3億4百万円（前年同期比50.9%増）となりました。

(弁当給食事業)

「フレッシュランチ39」（事業所向け宅配弁当）につきましては、弁当容器の全面リニューアルや、メニュー表の刷新などの販売促進活動を強化し、取引先の節電対応による作業日の変化などの不安要素に対応してまいりましたが、売上高、セグメント利益ともに低調に推移いたしました。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）につきましては、引き続き新しい販売スタイルへの取り組みを企画、施策するとともに、弁当容器を竹材を使った可燃物で処理できるものへと変更し、環境への配慮にも取り組んでまいりました。しかしながら、コスト増加分の販売食数目標には未だ達成しておらず、セグメント利益への貢献には至らない状況で推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は「フレッシュランチ39」72,400食、「こしひかり弁当」7,100食の合計79,500食（前連結会計年度末比4.1%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は34億50百万円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益は1億51百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

(宅配事業)

宅配事業につきましては、原材料価格が比較的安定して推移しており、引き続き外部委託販売員（ヨシケイパートナーレディ）を積極的に導入し、営業コースの見直しや人件費コストの抑制などを推し進めてまいりました。また、新潟県内においてテレビコマーシャルの放映、『ヨシケイライフストーリー』と題し、「ヨシケイ」とのエピソードをホームページ上で募集・掲載し、広報活動にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25億55百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は1億90百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

(旅館、その他外食事業)

旅館部門につきましては、震災後の観光への自粛ムードは徐々に緩和されており、宿泊稼働率は前年を下回ったものの、レストランなどの日帰り利用客は、前年を上回る結果となりました。

また、旅館以外の外食部門につきましては、4月に「丸源ラーメン紫竹山店」(新潟市中央区)をオープンいたしました。夏季の猛暑の影響もあり、来客数は低調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億88百万円(前年同期比18.1%増)、セグメント損失は6百万円(前年同期はセグメント利益4百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加し、138億44百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億95百万円増加し、92億2百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、46億42百万円となりました。この結果、自己資本比率は1.1ポイント低下し、33.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成23年5月11日)の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	868,942	903,982
売掛金	879,201	747,287
商品	921,070	1,139,775
原材料	103,985	100,867
その他	457,031	461,739
貸倒引当金	△5,855	△3,645
流動資産合計	3,224,375	3,350,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,438,768	4,421,572
土地	2,931,948	2,931,948
その他(純額)	418,109	582,899
有形固定資産合計	7,788,826	7,936,419
無形固定資産		
のれん	12,027	10,078
その他	366,797	417,410
無形固定資産合計	378,824	427,488
投資その他の資産		
その他	2,225,743	2,137,510
貸倒引当金	△4,568	△6,698
投資その他の資産合計	2,221,174	2,130,812
固定資産合計	10,388,825	10,494,720
資産合計	13,613,200	13,844,728
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,222,547	2,084,695
短期借入金	1,090,241	1,172,357
未払法人税等	420,000	85,761
賞与引当金	183,899	189,369
災害損失引当金	27,148	7,052
その他	1,101,939	1,021,062
流動負債合計	5,045,776	4,560,298
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,743,586	2,637,712
役員退職慰労引当金	570,914	303,094
退職給付引当金	17,772	19,108
資産除去債務	389,511	401,035
その他	639,638	781,058
固定負債合計	3,861,422	4,642,007
負債合計	8,907,199	9,202,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,084,177	4,267,297
自己株式	△503,942	△751,442
株主資本合計	4,748,727	4,684,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,725	△41,924
その他の包括利益累計額合計	△42,725	△41,924
純資産合計	4,706,001	4,642,421
負債純資産合計	13,613,200	13,844,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	18,714,653	19,903,157
売上原価	13,905,941	14,777,529
売上総利益	4,808,712	5,125,627
販売費及び一般管理費	4,454,536	4,663,609
営業利益	354,175	462,018
営業外収益		
受取利息	321	149
受取配当金	7,332	7,929
その他	62,835	56,304
営業外収益合計	70,488	64,384
営業外費用		
支払利息	28,547	23,426
その他	2,336	2,487
営業外費用合計	30,883	25,914
経常利益	393,781	500,487
特別利益		
固定資産売却益	3,721	—
貸倒引当金戻入額	3,960	—
その他	1,294	—
特別利益合計	8,976	—
特別損失		
固定資産売却損	2,441	—
固定資産除却損	3,895	28,374
投資有価証券評価損	71,082	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	129,714	—
災害による損失	—	30,052
その他	5,030	2,171
特別損失合計	212,164	60,597
税金等調整前四半期純利益	190,593	439,890
法人税、住民税及び事業税	189,435	73,875
法人税等調整額	△65,016	126,936
法人税等合計	124,419	200,812
少数株主損益調整前四半期純利益	66,173	239,077
少数株主利益	—	—
四半期純利益	66,173	239,077

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,173	239,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,563	801
その他の包括利益合計	35,563	801
四半期包括利益	101,736	239,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,736	239,878
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	190,593	439,890
減価償却費	252,773	280,145
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,900	△267,820
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	1,335
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,733	△81
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△20,095
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,809	5,469
受取利息及び受取配当金	△7,653	△8,079
支払利息	28,547	23,426
投資有価証券評価損益(△は益)	71,082	—
固定資産売却損益(△は益)	△1,280	—
固定資産除却損	3,895	26,801
店舗閉鎖損失	1,834	—
賃貸借契約解約損	3,195	2,171
災害損失	—	30,052
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	129,714	—
売上債権の増減額(△は増加)	63,061	129,326
たな卸資産の増減額(△は増加)	△46,263	△232,811
未収入金の増減額(△は増加)	108,866	17,847
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,897	△50,503
仕入債務の増減額(△は減少)	△227,022	△137,852
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,356	△65,410
未払費用の増減額(△は減少)	△15,777	7,134
預り保証金の増減額(△は減少)	58,057	21,148
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△49,083	△71,485
その他	17,537	34,754
小計	600,895	165,364
利息及び配当金の受取額	7,781	8,080
利息の支払額	△26,966	△25,238
法人税等の支払額	△7,283	△406,810
法人税等の還付額	141,132	—
災害損失の支払額	—	△7,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	715,560	△266,291

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28,094	△28,033
定期預金の払戻による収入	18,000	28,000
投資有価証券の取得による支出	△7,309	△49
有形固定資産の取得による支出	△321,424	△225,747
有形固定資産の売却による収入	26,170	—
無形固定資産の取得による支出	△26,449	△73,183
出資金の払込による支出	△649	△524
敷金及び保証金の差入による支出	△27,312	△38,068
敷金及び保証金の回収による収入	19,970	359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,098	△337,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
リース債務の返済による支出	△17,246	△34,124
長期借入れによる収入	—	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△570,356	△523,758
自己株式の取得による支出	—	△247,500
配当金の支払額	△57,563	△56,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	△645,166	638,545
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△276,704	35,006
現金及び現金同等物の期首残高	1,135,700	710,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	858,995	745,214

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	弁当給食 事業	宅配事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,694,135	3,206,583	2,569,836	244,097	18,714,653	—	18,714,653
セグメント間の内部売上 高又は振替高	13,723	78,717	—	2,813	95,254	△95,254	—
計	12,707,859	3,285,300	2,569,836	246,911	18,809,908	△95,254	18,714,653
セグメント利益	201,707	154,680	164,031	4,854	525,274	△171,099	354,175

(注)1 セグメント利益の調整額△171,099千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,850千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	弁当給食 事業	宅配事業	旅館、その 他外食事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,608,560	3,450,873	2,555,408	288,314	19,903,157	—	19,903,157
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,610	70,367	—	427	75,406	△75,406	—
計	13,613,171	3,521,241	2,555,408	288,741	19,978,563	△75,406	19,903,157
セグメント利益又は損失 (△)	304,472	151,391	190,989	△6,149	640,704	△178,685	462,018

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△178,685千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,718千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

「旅館、その他外食事業」は前連結会計年度まで「旅館事業」と表示しておりましたが、平成23年4月にフランチャイズ店となります「丸源ラーメン紫竹山店」をオープンしたことに伴い、事業内容をより正確に表示するために、第1四半期連結会計期間よりセグメント名称を変更しております。

なお、変更は名称のみでありますので、これによるセグメント情報の損益等に与える影響はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。